

第3号 菊池環境保全組合立 環境工場等建設の取組み

菊池環境保全組合立環境工場建設候補区域選定委員会
及び建設用地選定委員会 広報



東部清掃工場



楽善埋立処分場

- 菊池環境保全組合立環境工場建設候補区域選定委員会
- 菊池環境保全組合立環境工場建設用地選定委員会
- 菊池環境保全組合
- 構成市町／菊池市(旧泗水町)・合志市・大津町・菊陽町
- 平成22年12月

問い合わせ先：菊池環境保全組合 総務課 TEL096-293-2555

■「菊池環境保全組合立環境工場建設候補区域選定委員会」経過報告

平成22年9月7日に第5回、11月15日に第6回の委員会を開催しました。

10月中に一次選定において決定した中央ゾーンより構成市町ごとに一ヶ所ずつ二次選定エリアが選出され、第6回委員会において現地視察を実施し、次のとおり組合長へ答申を行いました。

本「環境工場建設候補区域選定委員会」としては、平成22年4月から11月まで「候補地を検討する区域の選定」を主目的として検討を重ねてきました。

他都市事例の視察や区域選定に関する選定条件の検討、さらに試行錯誤の選定条件を踏まえたエリア設定を行い、菊池環境保全組合管内におけるあるべき候補区域を設定したとともに、各市町の地元行政を中心に各市町の委員も協力してその候補区域のエリア内において4カ所の候補地区を選出しました。(表-1 新環境工場建設候補地区位置図)

これらの4カ所の候補地においては、今後の「環境工場用地選定委員会」において十分に深慮頂くとともに、エリア内に立地するセミコンテクノパーク等の工場施設にも十分配慮されて1カ所の「建設用地」を選定されることを切に望むものです。

また、本区域選定委員会の要望として、以下の事項を推挙します。

なお、本委員会の検討経緯等を別紙、「環境工場建設区域選定委員会 検討結果報告書」にまとめます。

1. 旧泗水町以外の菊池市部分

現在、菊池環境保全組合管内においては、構成4市町のうち菊池市部分は旧泗水町部分のみが加入している状況ですが、菊池市自体、諸問題があるものの市全域の加入を望むものであり、広域処理の観点からも菊池市全域加入できることが望ましいと考えます。なお、加入可能となる時期的な要素も前提となりますが、組合議会等における当面の諸検討においては、菊池市の全域加入も視野に入れた検討を求めます。

2. 用地の拡大確保

本委員会において視察した北九州市の「新門司清掃工場」及び筑紫野市・小郡市・基山町の清掃施設組合「クリーンヒル宝満」にて伺った「用地確保の手法」である「2期分の確保」について協議した結果、菊池環境保全組合においても、地方都市の人口が減少する周辺地域において、人口の増加が見込まれている本組合管内で、将来的に住宅地化が進み、用地の確保が非常に困難になっていくことが予想されます。

したがって、現在の建て替え計画の後、数十年後の将来を見据えて焼却施設用地を2カ所分まとめて確保し、交互に立て替えを行うという手法を採用することが望ましいという結論を得ました。組合議会等における今後の諸検討においては、これらの将来的動向も視野に入れた検討を求めます。

3. 周辺地域との調和と地域還元

建設用地として決まった地区について、具体的には決まった建設用地の周辺環境及び状況によって対応が異なるものとなりますが、可能な限り、様々な面で建設用地と周辺地域との共生を図ることを求めます。

また、施設の方式や設計によって異なってくるものではありませんが、可能な限り、焼却施設からの余熱利用による地域還元(ビニールハウスや給湯等)を図り、周辺に居住する地域住民への配慮を行うことを求めます。

4. 処理方式と用地選定

今回の委員会の進め方においては、用地選定を先行し、用地の決定後、処理方式を選定する手順で行っていますが、本委員会においても「処理方式によっては誘致したい」という意見もあったことから、現段階である「区域選定」においては選定することができましたが、今後の具体的な「用地選定」に向けては、可能な限り「処理方式の選定」も平行して頂くことを求めます。

以上

●今後の予定について

■「菊池環境保全組合立環境工場建設用地選定委員会」の設置

今後は、第2段階である「環境工場建設用地選定委員会」を設置し、最も適地であると判断される用地について三次選定として検討するとともに、基礎的な判断材料とするための簡易な現地調査を実施し、候補地の状況等を踏まえ最終的な1ヵ所の「建設用地」の決定を行ってまいります。

◆委員会の検討事項

- ・本委員会においては、候補区域選定委員会より答申のあった4ヵ所の候補地区の確認・検討及び調整を行います。
- ・用地選定のために必要な簡易調査項目の検討を行います。
- ・候補区域の配置計画(案)の検討、各種比較評価等を実施し、積極的に立地すべき地点の検討を行います。

◆用地選定委員会の構成

- ・環境工場建設候補区域選定委員会の委員長及び副委員長

公立大学法人熊本県立大学 環境共生学部教授 篠原 亮太 (委員長)
菊陽町商工会副会長 山内 彰雄 (副委員長)

- ・専門知識を有する者

財団法人日本環境衛生センター西日本支局 熊本支所 所長 田北 成樹

- ・候補区域の住民代表

平島 泰孝、内田 康洋、澤田 幸雄、松井 良二、松永 富幸、伊藤 一高、
秋山 茂治、大野 滋

- ・関係市町環境担当課長及び組合事務局長

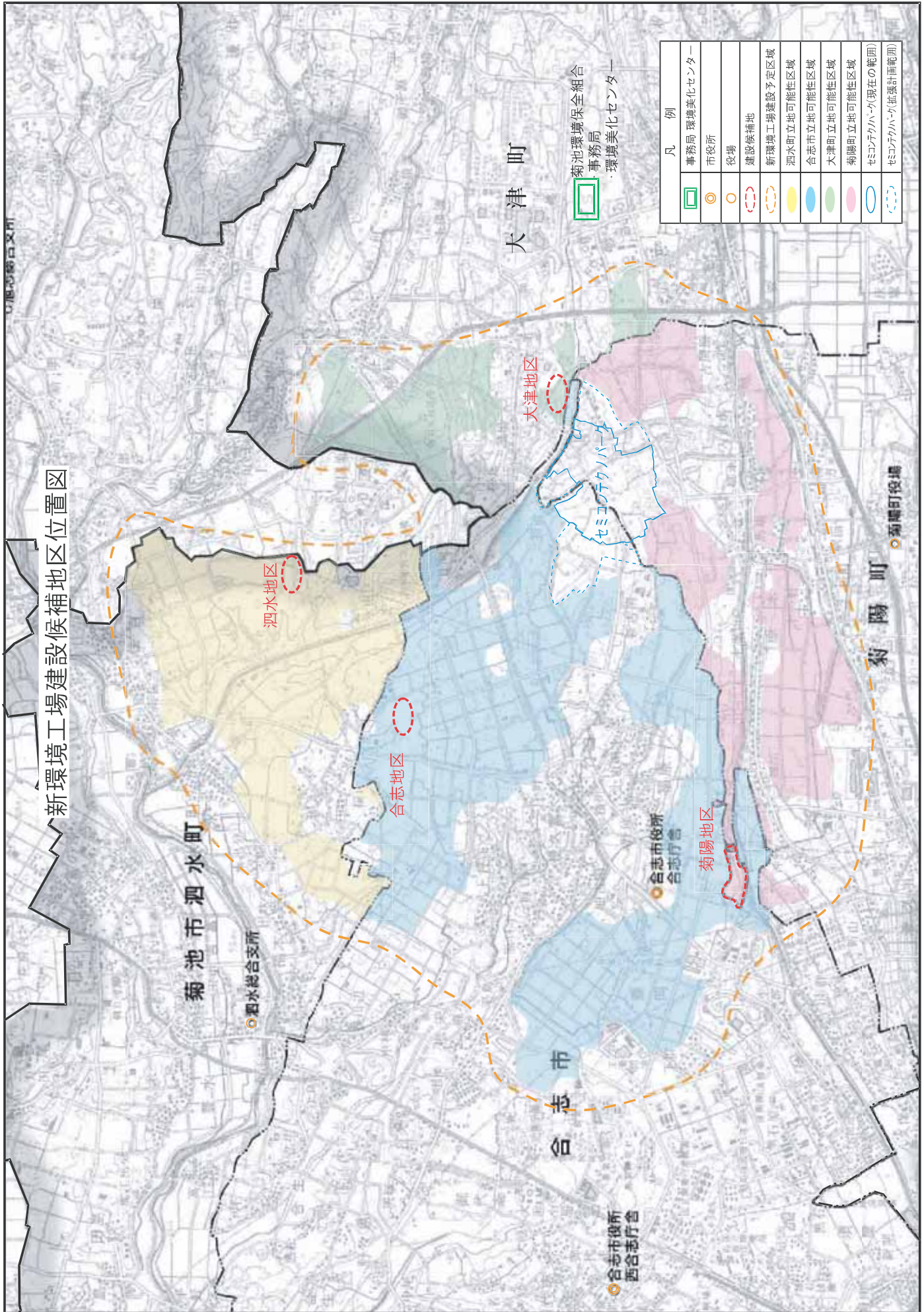
富田 恭一、上山 幸顕、徳永 太、吉野 邦宏、渡邊 義壽

■「菊池環境保全組合立環境工場建設に係る機種検討小委員会」の設置

「環境工場建設候補区域選定委員会」答申時の要望事項を踏まえ、「環境工場建設用地選定委員会」と平行して「環境工場建設に係る機種検討小委員会」を設置し、焼却施設や処分場において新たに採用すべき処理方式や機種選定要因^{※1}の決定を行ってまいります。

※1：公害防止、廃棄物処理の安定性、運転管理の信頼性・安全性、維持管理の経済性・容易性等

表-1 新環境工場建設候補地区位置図



凡例	事例
	事務局 環境美化センター
	市役所
	役場
	建設候補地
	新環境工場建設予定区域
	酒水町立地可能性区域
	合志市立地可能性区域
	大津町立地可能性区域
	菊陽町立地可能性区域
	セミコテクノパーク(現在の範囲)
	セミコテクノパーク(拡張計画範囲)

今後も委員会の開催状況や決定事項については、広報及び本組合ホームページ (<http://www.kikunanseisou.or.jp>) に掲載しますので、皆様のご理解のほどよろしくお願いいたします。